

# OA機器によるシステム設計書の作成と保管管理

システム設計書作成管理支援システムの構築

Computerized Preparation and Management of System Design Documents

Building a system design document preparation/management assist system

(システム開発部 システム管理G)

事務機械化を行うための「システム開発」は、システムの機能とその仕組みを確定する等の「設計作業」と、それを具体的に記述する「プログラミング作業」に大別される。「プログラミング作業」はツールの開発など生産性の向上・効率化の努力が行なわれ著しい成果を上げているが、「設計作業」は現在でも手作業で行っている。そこで、最近のOA機器を利用し、「設計作業」の生産性向上を目的として当社業務への適用性などに関する研究を開始した。

(Information Systems Department, System Management Group)

System development for the mechanization of administrative work is roughly divided into the design work to determine the functions and mechanism of the system and the programming work to describe it in specific terms. Considerable improvements have been achieved, including the development of tools for programming, resulting in higher productivity and efficiency. Design work, on the other hand, remains a time-consuming manual process. We began research on the applicability of OA equipment to the design work of the company for the improvement of productivity in this field.

## 1 研究の必要性

社会の高度情報化に伴い、システム開発のニーズが増大する中、より円滑な設計作業が要求されている。システム設計書(ドキュメント)は、図形での記述・転記加工等が頻繁にある上に、システム変更が発生する都度再利用されるので、従来の手書き方式ではどうも効率化に結び付かない。また、設計書の保管場所も増加する一方であり、これらの問題に対応するため、OA機器を用いた改善が必要不可欠となってきた。

## 2 研究の概要

本研究では、今回の研究に一番ふさわしいOA機器として富士ゼロックス(株)の「JStar」を選定し、設計書作成における以下の4項目の研究を行う。

### (1) 一元管理化と省スペース化

現行の設計書様式に対し、「JStar」の良さがそのまま生かせる標準化様式を考案した上で、これらの電子化(機器内登録)を行うことにより、一元管理化と省スペース化の検証を行う。

### (2) 作成業務の効率化

設計書作成に必要な「図形処理機能」「ワープロ機能」「文書保管機能」等の有効利用方法を検討する。特にプログラム構造図・標準図形のパターン化や「自動作成機能」の採用による作業の効率化を検証する。

### (3) 保管体系の整備による再利用効率化

設計書の保管管理体系を検討するとともに、遠隔地操作を含めた再利用の効率化を検証する。

### (4) 他機種との連携接続性

他機種で作成した設計書の互換性が高ければ、変換作

業などの必要がなくなるため、他機種との連携性について検証する。

## 3 将来的展望

本研究の中で、次の項目に関し考察を行う。

### (1) システム開発部での採用

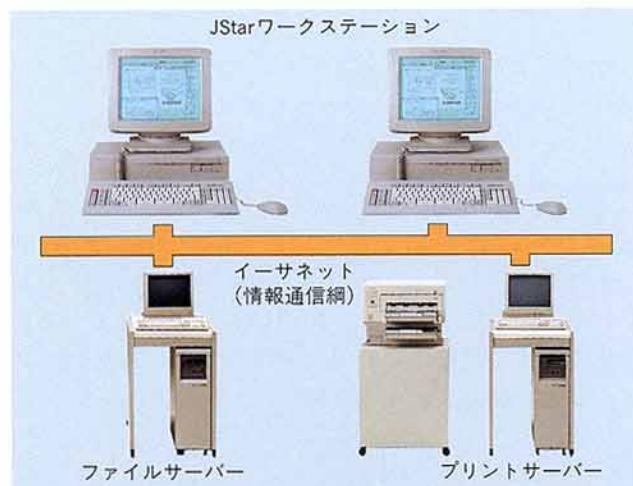
設計書作成の作業標準をOA機器に設定し、誰が設計しても同じ作業が行える環境は、どのように整備すれば良いかを検討する。

### (2) 関係会社とのネットワーク化

関係会社との間にWAN(情報通信網)を構築し、作業の委託化による二重管理の防止と、迅速的確な情報伝達を図る。

### (3) プログラミング自動作成への連動性検討

設計書に対応したプログラムの自動生成機能を備え、プログラムの信憑性を高めると同時に、コーディング作業の軽減を図る。



システム概要図